

## 鳩山政権下における科学技術関係予算の編成過程の特色について

### ○鳩山政権の重要政策(チャレンジ25)に対応し、科学技術関係予算の概算要求をグリーンイノベーション推進へ重点化

- 「国連気候変動首脳会合における鳩山総理大臣演説(平成21年9月22日)」、「平成22年度予算編成方針の方針について(平成21年9月30日)」等に即応し、「平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分方針」を新たに策定(平成21年10月8日)。
- 環境と経済が両立する社会を目指すグリーンイノベーションの推進を最重要政策課題と位置付け。
  - 各府省の要求において前年度比27%増と重点化。
  - 各府省の科学技術関係概算要求に占める最重要政策に関する施策の割合も多くの省で増加。

### ○予算編成プロセスの透明化のために今回新たに実施した取組

#### 1. パブリックコメントの実施

各府省が概算要求した優先度判定等の対象となる科学技術関係施策の事業についての事業概要を内閣府ホームページに掲載し、国民から意見を募集。いただいた意見を優先度判定等に活用。

#### 2. 優先度判定等に当たって実施したヒアリングのプレス公開

各府省の概算要求方針の基本的考え方及び各府省の科学技術関係施策の具体的取組内容に関するヒアリングをプレスに公開することで各府省の科学技術関係施策の詳細、優先度判定等の根拠となる議論内容を国民に公開。必要に応じ、施策の関係者からもヒアリングをプレスに公開して実施。

#### 3. 優先度判定等の審議過程(途中段階、決定)の公表

優先度判定等について有識者議員が議論、調整する全体調整会議の資料について、原案段階からプレス公表し、ホームページにも掲載することで、優先度判定等の審議過程を国民に公表。

#### 4. 優先度判定等の責任の所在の明確化

優先度判定等の判定の担当有識者議員名を明示し、判定の責任の所在を明確化。